

びふか 議会 です

こんにちは。

2023年11月
北海道／美深町議会



4年ぶりの歓声
町民大運動会

第3回
定例会

令和4年度決算を認定 …… 2～7ページ

条例改正
補正予算

福祉人材確保を強化 …… 8～10ページ
びふか温泉料金改正

一般質問

4議員に町の答弁は …… 11～14ページ

委員会報告

高齢者福祉・介護の現状と課題 …… 16～17ページ
幼児センターの現状と課題

街 & 仲
インタビュー

びふか手打ち蕎麦同好会の皆さん …… 18ページ

第127号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の情報をご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

令和5年 第3回定例会

【9/11~15】

第3回定例会は9月11日に開会し補正予算・条例改正案が提出され、一般質問は4議員が登壇しました。

13、14日は、決算審査特別委員会を設置し、令和4年度の決算審査を行い、認定すべきものとして本会議に報告されました。

15日には、提出された議案と追加議案の質疑が行われ、全議案を可決し閉会しました。

令和4年度決算を認定

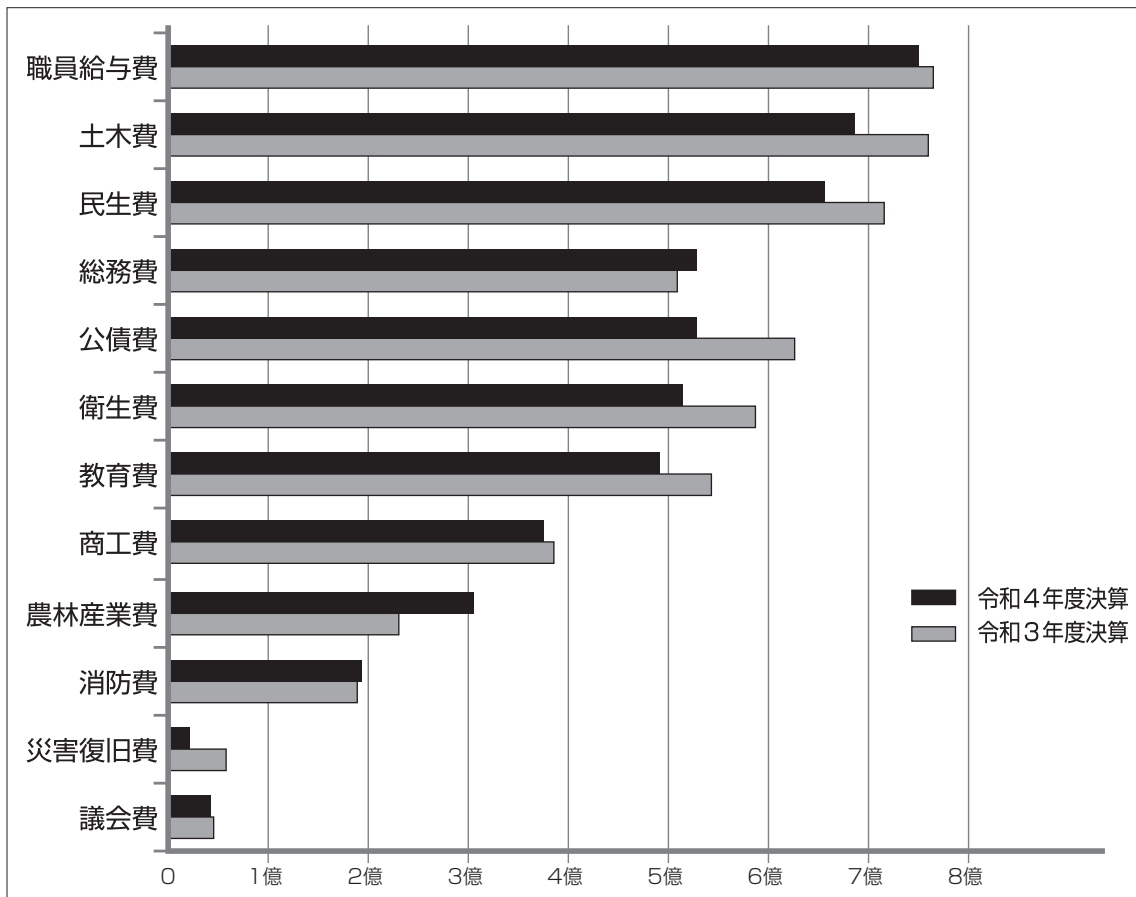
歳出決算額 52億0647万円

決算審査

決算審査特別委員会（議長・監査委員を除く議員）では荒川議員を委員長に選出し、各事業や施策等が当初の目的に沿っているかについて審査を行いました。多くの意見が出され、2年目となった第6次総合計画を進めるよう改善に向けた研究・検討を行い、財源確保と経費抑制に努め、持続可能な行財政運営を図るよう申し入れました。

前年比 4.3% 減少 一般会計の各項目別決算比較

コロナ感染対策や食料・エネルギーの高騰による物価対策の支出は増えたものの、前年に実施した厚生病院の医療機器整備や災害復旧費が減少したことなどもあり、最終的に収支は5億8千万円余りの黒字となりました。



第1章
人と自然が調和する
快適で安全なまち

●環境保全・環境衛生、
道路・交通、防災・消防、
情報化の充実・推進

質問者 田中・和田・藤原・
名取・木下・
小口委員

鳥獣被害対策は

箱わなの保有
台数や修繕台数
は。

は。

答 保有は70基。
年間で10基前後
故障するが修繕し利用
している。

アライグマの被害が
大変増えているので、
内部で検討して、来年
度以降、箱わなの増台
を検討したい。

問 ヒグマの捕獲
頭数と地域は。
出没地が市街地に近
づいているが、その対
策は。

答 令和5年度は、
すでに12頭捕獲
している状況であり、
清水、報徳、川西地区
のデントコーン畑で出
没している状況である。
住宅地での確認・目
撃情報は看板等を設置
し、防災情報アプリを
活用し情報提供してい
く。

有収率低下の要因は

上水道の有収
率が70%を切っ
ている要因は。

また下水道の不明流
水が30%を超えている
が原因は。

答 有収率の低下
要因は、配管部
品の老朽化による漏水
であり、令和6年度か
ら配水管更新事業を実
施し、有収率向上を目
指していく。

下水道に関しては、
カメラを入れて調査を
行っており、今後も調
査し、長寿命化事業で
改善を図りたい。

交通指導員が高齢化

問 高齢化が進ん
でおり、人材確
保に向け具体的な取り
組みは。

答 現在12名の指
導員があり、50
代が1名、60代が4名、
70代が7名という状況
である。

候補者リストの作成



人材確保が求められている交通指導員

まで至っていないが、
今後も紹介して頂いた
り、探していくところ
である。

空き家・危険家屋
の取り扱い

問 令和3年度の
空き家調査で判
定件数が52件で危険家
屋が6件となっている
が、取扱いについて考
えはあるのか。

答 危険家屋は、
風など諸々の心
配はあるが、個人の財
産であるため、今のと
ころは現状維持でしか
ない。

問 フレンドバス
を利用する子ど
もが増えるよう上手に
PRすることはできな
いのか。

答 小学校等に周
知するために関
係者と協議した経緯は
ある。

子ども向けに周知は
していないが、今後は
保護者や事業所と課題
を検討していきたいと
考える。



子どもでも利用できるフレンドバス

第2章
地域産業の新たな飛躍へ
挑戦するまち

●農業・林業・商工業・
観光の振興

質問者 和田・木下・藤原・
田中・名取・蠣崎・
中瀬・小口委員

農業後継者の
婚活支援

問 後継者婚活支援の実績はどのようになっているか。また、LGBTQ等の配慮は。

答 今年2月の開催で3組のマッチングが誕生したが、その後の追跡まではしていない。

また、過去5年間に
おいても婚姻に至った実績はない。

過去の事業結果を考慮し、後継者のスキルアップを重点的に行う。町内の横断的な出会いの場を設ける取り組みも検討する。

LGBTQ等の配慮も慎重に行い、要望に合わせた支援をしたい。

土づくりと
ICT農業

問 農業の基本である土づくりが重要で現状と今後の計画は。

農業の基本である土づくりが重要で現状と今後の計画は。

答 農業者の計画やニーズを考慮した支援を検討していきたい。

ICTスマート農業支援も合わせ、今後どのようにすすめていくか十分協議する必要がある。

投入する肥料や有機物の評価が困難で分析点数の地道な向上を進め、分析の重要性や効果を説明していきたい。

農業研修生と宿舎の活用について

問 宿舎の利用状況は。

また、農業外の使用については。

答 コロナ禍の令和3、4年については、募集を行っていないが、現在はインターネットなどを通じて情報発信し、募集を再開している。

農業研修生が優先の施設だが、「町の公益な活動に対して有益な場合は、エアリアル関

係など限定的な使用もある。

観光振興と雇用安定

問 体験インスタラクターなどの人材確保をどのように進めているか。

新卒の高校生など町内雇用の対策は。

答 民間において天塩川の川くだりガイドなどが育っているほか、観光協会を含め、今後も更に育成していく考え。

雇用に関しては、商工会青年部などの協力を得て、新卒向け就業説明会を行なっている。今後も雇用に繋がるような取り組みを進めていきたい。

チョウザメ育成と販売戦略

問 販売戦略が課題となっているが、新たな戦略と人材の確保は。

答 定期的な魚肉出荷をメインで

考えている。

昨年度から、札幌のイタリアンレストラン、高級鮭屋で定期的な取引が成立し、キャビアも定期的購入していただくなど、少しずつ前進している。

今年の生産量の結果を踏まえて戦略を検討していきたい。

人材については、一部飼育委託を振興公社職員や地域おこし協力隊などと一緒にやっている。



新たな販売戦略が求められるチョウザメ事業

用語解説

LGBTQとは

特定の性的少数者(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィア)を包括的に差す総称。

第3章
次代を生き抜く力と
豊かな心を育むまち

● 幼児教育、学校教育、
社会教育、芸術文化、
スポーツの振興

質問者 小口・藤原・和田・
田中・蠣崎・中瀬・
木下委員

答 英検について
は、厳しい結果だ
が、英語を使ったコミュ
ニケーション能力が上
がることに着眼してい
る。
内容を精査しながら
これからも充実させて
いきたい。
今後は、英語を使う
イベントを休日などに

問 ALTI二人体
制での成果は。
中学生卒業時で、英
検3級以上の取得目標
が60%に対し23%の実
績だが、これをどう評
価するのか。

**特色ある
英語教育の成果は**

答 添乗員を必要
とする子どもの
スクールバス利用が減
少したため、不用額と
なった。

問 不用額が多く
発生しているが
要因は。

**幼児センター
不用額の理由**

答 基盤整備とし
て土壌改良、排
水対策の改善などの課
題もあるが、今年度は
植栽をおこなわず、ウォー
キングコースとして景
色を楽しんでいただ
きたい。
今後の展開は協議を
しながら進めていく。

問 スキー場の景
観整備の完成度
は。

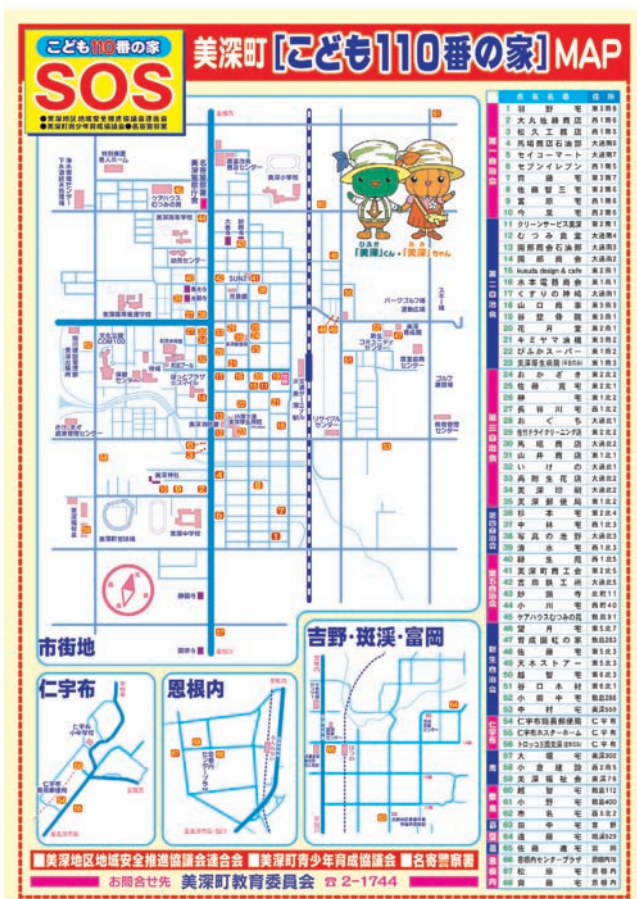
答 コロナの交付
金により質・量
を落とすことなく提供
できている。
令和5年度も同様に
提供できている。

問 学校給食の食
品価格高騰に対
応していかなければな
らないと思うが、工夫
していることは。

答 学校給食の食
品価格高騰に対
応していかなければな
らないと思うが、工夫
していることは。

**給食費
価格高騰に工夫は**

行っていきたい。



登録家庭に配布した「こども110番マップ」

問 山村留学を希
望する人数が多
いのであれば、受入人
数を増やすべきでは。
答 現在、親子留
学用住宅が6戸、
ホスターホームで6人
の受け入れ体制。
学校運営としては地
元の児童・生徒を含め
て20人から25人が理想
と考えている。

問 山村留学を希
望する人数が多
いのであれば、受入人
数を増やすべきでは。
答 現在、親子留
学用住宅が6戸、
ホスターホームで6人
の受け入れ体制。
学校運営としては地
元の児童・生徒を含め
て20人から25人が理想
と考えている。

山村留学の今後は

問 登録家庭のマッ
プ更新だけでな
く、マニュアルに沿っ
た訓練などは考えてい
ないのか。
答 平成27年に作
成したものが古
くなり、新たに登録さ
れた家庭に確認し、令
和4年に更新配布した。

問 登録家庭のマッ
プ更新だけでな
く、マニュアルに沿っ
た訓練などは考えてい
ないのか。
答 平成27年に作
成したものが古
くなり、新たに登録さ
れた家庭に確認し、令
和4年に更新配布した。

**こども110番
今後は**

青少年育成協議会が
窓口となっており、ま
ちの防犯や地域安全運
動のひとつとして、今
後どのような取り組み
ができるか関係者と協
議し方向性を見つけて
いきたい。

第4章
健やかに安心して
暮らせるまち

●健康づくり、医療、子育て、
高齢者・障がい者福祉、
地域福祉の充実

質問者 名取・田中・小口・
藤原・和田委員

介護保険運営事業

問

令和6年4月
から始まる第9
期の介護保険事業計画
において、地域包括ケ
アシステムの強化に向
けた取組はどのような
ものになるのか。

答

介護が必要に
なっても町民が
住み慣れたまちで住み
続けることを目標とし、
医療、介護、認知症施
策、生活支援体制の整
備という4つの視点を
持っている。
医療体制の維持は今
後も重要であり、努力
していきたい。

介護サービスでは、
人材確保による供給体
制の維持が重要。
認知症対策は認知症
カフェの継続と、住民
の認知症に対する理解
認知症当事者の方が活
躍できるような場所を
作っていくことが大事
と考えている。

生活支援体制は、社
会福祉協議会に生活支

援コーディネーターを
配置して、困りごとへ
の対応、見守り活動な
ども始めた。
新たな仕組みづくり
も視野に入れるなど、
これからも地域包括ケ
アシステムの実現に向
け、努力していきたい。

ほっとプラザ・
スマイル

問

令和4年度は、
電気代が990
万円、ほぼ1000万
円。
指定管理料全体では
約1900万円を超え
る決算が続いている。
設備投資として、太
陽光パネルの導入やオー
ル電化以外の方法も検
討するなど、一番ウエ
イトが大きい電気料金
の抑制を考えるべきで
ないか。

答

物価高騰や燃
料費高騰などが
目立つ施設で、電気料
金では燃料費調整単価
の動きが大きく、暖房
給湯とも電気を使用し

ているため、負担が増
えている。
新たな設備投資をす
るよりも、電気料金や
原油価格の推移を見守っ
ていく方が有効的と考
えている。

この施設の設備はま
だ十分使える施設のた
め、設備更新のタイミ
ングで将来的方法を検
討したい。



電気料金の高騰で管理費が増加した ほっとプラザ・スマイル

お達者健診で
聴力の検査は

問

75歳以上の方
が対象になるお
達者健診に、聴力検査
は入っているのか。
また、補聴器につい
ての相談は、保健セン
ターでも可能なのか。

答

健診に聴力検
査は含まれない
が、高齢者の耳の聞こ
えの悪さから、生活上
の不便や会話の減少に
より認知症につながる
ことは考えられる。
健診の項目には入っ
ていないため、もし実
施する場合は、委託先
との相談など情報収集
が必要になる。

保健センターでは、
必要に応じた耳の聞こ
えの相談や、補聴器が
必要という医師の意見
書に基づき補装具の申
請手続きには対応する。

第5章
みんなでつくる
自立したまち

●住民参画、関係人口の創出、行政経営の充実

質問者 藤原・小口・和田・
蠣崎・田中委員

地域おこし協力隊
の現状は

問 定住に結び付けるのが本来の目的だったが、上手く結び付かない要因や解決策は。

答 定住に結び付くようにサポートはしているが、働きたいと希望が合致しない所など要因があり難しい状況。

令和5年現在までに17人を受け入れた実績があり、7人が定住に繋がっている。引き続き本人たちの意思を尊重して検討を重ねてサポートしていくつもりであり、美深町の魅力を知ってもらうようにサポートの在り方を改善している最中。

ふるさと納税の
返礼品の拡充は

問 寄付金の額が減り続けている。現状を打破するためには新商品の開発が必要ではないか。

美深町地域おこし協力隊 任用者数並びに定住者数（年度別）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
任用者数	1	4	0	3	0	2	3	3	0	0	0	1	17
定住者数	0	0	2	2	0	2	0	0	0	1	0	0	7

答 既存の事業者や委託業者と新たな商品の開発の相談は随時行っているが、普段業務をされている中で早急には対応して貰えない状況。今年度から天塩川の川下りを中心とした体験型の返礼品を新しく取り扱っている状況であり、今後も協議をしながら検討していきたいと考えている。

ホームページの
充実に対する認識は

問 ホームページの情報が他町村と比べて少ない印象があるが、構成上の課題等はあるか。

答 他の自治体と比較した事が無いので答え兼ねるが、これを機に職員間で相談し、他町村とも比較しながらより良いものを作っていく。

マイナンバーカード
への対応は

問 令和5年3月31日までで申請手続済の未交付数が84件となっているが、今後の対応は。

答 現在30件程度交付が出来ていない状況にあり、9月までに申請しないとマイナンバーポイントが受け取れないため、夜間窓口を開設して日中來られない方に文書で周知している。希望する方には土日も開放する旨も通知している。



体験型の返礼品となった天塩川カヌーツアー

修学資金 就業一時金を強化

びふか温泉 利用料金の上限見直しへ

条例改正

美深町保健師等
人材確保条例

町または町内の病院
福祉施設等に勤務する
人材の確保を図るため、
修学資金や就業一時金
の貸し付け対象となる
職種を拡大し貸付金額
を引き上げるもの。

修学資金の対象職種拡大と貸付上限月額額の増額		
区分	改正前	改正後
保健師・看護師	50,000円	100,000円
准看護師	20,000円	50,000円
介護福祉士	20,000円	80,000円
【新設】社会福祉士	—	100,000円
【新設】精神保健福祉士	—	100,000円

就業一時金の貸付対象職種を追加		
区分	改正前	改正後
保健師・看護師・准看護師	60万円以内	60万円 以内
【新設】介護福祉士	—	
【新設】社会福祉士		
【新設】精神保健福祉士		
<ul style="list-style-type: none"> ・50歳未満 ・常勤3年以上勤務しようとする者。 ・町内に住所がなく、勤務日から6か月以内に転入見込がない場合は、1/2以内の金額。 		

問 人材不足による条例改正だが、現在どれくらい人員が不足しているのか。

答 現在は介護従事者が9名不足している状況となっている。

質問者 和田

原案可決 全員賛成

森林公園びふか
アイランド条例

昨今の物価高騰に対応するため、利用料金の上限を概ね30%（物価高騰分19%、人件費上昇分11%）引き上げ、経営の安定を目指すもの。

ただし、入館料の上限設定は多くの町民が利用している実態を考慮し、引き上げ率を抑え、大人450円から500円（子ども220円から250円）と

し、人件費上昇率11%相当までとしたもの。

問 入館料上限の引き上げ幅を11%にとどめた理由は。残りの物価高騰分19%にあたる85円は、振興公社損失として負担する考えか。

答 85円は振興公社が負担する考え。公衆浴場の役割があること、町民の利用が多いことを考慮し料金

設定を抑え、近隣市町村を参考にした金額とした。

問 負担分で赤字になった場合、町が負担するということか。

答 今後の経営状況を見ながら、さらに負担するか、状況によって判断していきたい。

も高いものの、人員確保も課題で、引き上げ率は11%であり、増やすべきではないか。

答 運営に関しては今までも最低賃金よりも高く設定しており、賃金の増額は振興公社が決めるもの。

質問者 和田 嶋崎・田中

問 人件費の現状は最低賃金より

原案に対する修正案

修正案提出者 嶋崎議員

入館料の上限は大人600円 (子ども300円)にするべき

執行部が提案する引き上げ率30%は妥当だと考えるが、入館料のみ大人500円(11%増)にとどまる原案に反対。

今後はインフレ加速が予想される中、条例で料金上限という蓋をすれば、物価の上昇リスクも考慮すべき。

また、物価高騰に伴うコスト不足分85円の損失を振興公社に求める今回の引き上げ幅では、温泉経営は後手となり、さらなる負担を強いる可能性がある。

本条例改正は、料金値上げを進めるものではなく、今後の経済情勢に鑑み、料金を設定するものあり、実際の料金設定は、経営陣の判断に委ねることが望ましいとする考え。

原案及び修正案に対する討論

●原案賛成 小口

近隣類似施設は500円台が多数を占めており、福祉と公衆浴場、ほっとプラザ・スマイル入浴料も視野に入れた改定金額と理解した。



●原案反対 和田

人件費の引上げ率が北海道最低賃金を基準とした11%となっている原案に反対。現状において人材確保が今後ますます厳しくなると予想される。実態に見合った賃金上昇を加味すべき。



●原案賛成 望月

住民の保養、福祉の向上という役割を確保、継続するもので、利用料増額は適切な運営を継続する上では避けて通れないもので、入館料は500円の設定が妥当。



修正案に対する質疑

問

修正案の金額600円の算定根拠は。また林業保養センターの事業内容について確認しているか。

質問者 望月・藤原

答

今後の物価上昇が想定されることが算定根拠。上限の設定という観点では運営する温泉に任せるべきだという修正案で保養施設として、運営判断によって特定日無料などの町民割引も検討し、従来の高齢者助成も活用すべき。

回答者 蠣崎

●修正案反対 名取

入館料を増やすことは町民にとって負担が大きすぎる。現行の案で運営を行っていただき、経過を見て今後の動向を決めていただきたい。

●修正案賛成 なし



採決 原案可決 賛成多数 修正案否決 賛成少数

【林業保養センター】

		区分	現行(上限)	改正(上限)
入館料	大人		450円	500円
	子ども		220円	250円
宿泊料 (1室1人の場合)	和室	大人	6,430円	8,360円
		子ども	4,510円	5,870円
	洋室	大人	6,770円	8,810円
		子ども	4,510円	5,870円

【びふか森林公園コテージ】

		区分	現行(上限)	改正(上限)
貸家料	10時～15時		7,890円	10,260円
	15時～20時		10,150円	13,200円
宿泊料			18,090円	23,520円

条例施行日：令和6年1月1日
(入館料のみ 令和6年4月1日)

【キャンプ場】

		区分	現行(上限)	改正(上限)
フリーサイト (1泊・日帰り /1人)	大人		550円	720円
	子ども		270円	360円
オートキャンプ サイト(1泊/1台)			2,700円	3,510円

主な改正内容

林業保養センター入館料ほか、ふるさと館、パークゴルフ場など含む料金表(上限)を次のとおり改正。(一部抜粋)

※利用料金はびふか温泉で決定しますので、お問い合わせください。

災害復旧に3305万円

8月5日豪雨

一般会計
補正予算

主な補正内容	金額
災害復旧費	3,305万円
COM100火災受信器更新	635万円
有害鳥獣駆除補助金	273万円
保健師等養成修学資金等貸付金	126万円
住宅維持管理作業委託料	250万円
びふか温泉エネルギー価格高騰対策	1,100万円

8月5日の集中豪雨で被害が発生したパンケ東2号道路など17路線、河川5か所の復旧費や燃料費高騰に対するびふか温泉への支援、看護師など医療・福祉関係の人材確保のために修学資金を強化する補正予算が提示されました。

主な質疑

町民体育館

問

耐震診断調査の結果に基づいて次の計画を立てることになったのだが、新たな進展は。

答

国交省の予算の状況や補助メニューの活用について、振興局と協議を行い、8月に交付申請を行った。

保健師等養成

問

修学資金、現在の貸付状況は。

答

看護師が1名、介護福祉士が1名利用している。制度改正で増額となる分と、対象が広がり新たな申請を想定して補正した。

脱炭素の取組で表彰

問

林業振興費にある旅費の内容は。

答

林野庁主催の森林脱炭素チャレンジで、仁宇布小学校の取組やスバルの森林保全が評価され、優秀賞となり町長と担

当が受賞に行くため。



林野庁長官賞を受賞

公営住宅の整備

問

退去後の修繕が多いとのことだが、件数と長期賃貸による経年劣化の今後についての対策は。



古くなり建て替えとなった公営住宅

答

10年以上居住した方の退去者が増えており、経年劣化の部分は町負担となり、令和5年は8件となっている。壁や床の痛みなどが多く、国の補助メニューなどがないか研究する。

質問者

荒川・名取
和田・田中

原案可決 全員賛成

意見書を採択

国へ提出

意見書の詳細はこちらをご覧ください



人事の同意

監査委員
水本 守氏(再)
教育委員会委員
坂井 弘明氏(再)

- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- 地方財政の充実・強化に関する意見書

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

町政のここが聞きたい

YouTube
公開中



- ①美深町で働く人の安全と健康の保持等について
- ②当面する福祉の課題について
- ③ICT教育とふるさと教育の現状と課題について



もちづき きよたか
望月 清貴

問

働く人の健康保持は

答

全町民の健康の保持・増進を願っている
まず健診を受けてほしい！

①美深町で働く人の安全と健康の保持等について

質問

働く皆さんがいて、はじめて今の美深町が持続しているが、すべての働く人たちが安全で健康に考える。

町長

農業、林業、商工業など、家族経営や少数の自営業者も多いが、安全と健康の保持は、何よりもまず、健康診断や保健

師・栄養士を活用し、「自分の生活習慣病等予防と健康の保持・増進をお願いしたい。」

各産業では、J A北はるかや地域担い手育成総合支援協議会、民有林等活性化推進事業

商工会などで、周知・啓発や健康診断などの取組が行われている。

質問

健康の保持で保健福祉課の地域保健との関連は。

また、スポーツ団体と連携して町民の健康づくりを進めては。

町長

「全ての町民の皆さんの健康の保持・増進」を願い、保健事業を進めている。働く人は、法律により事業所が行う健診を受ける義務があるほか、本町では、国保や協会

けんぽ加入者が健診を受けやすい体制をつくっており、活用を。

スポーツを通じた健康づくりでは、NPO法人びふかスポーツクラブが低料金で色々な教室を開催しており、参加をしてほしい。

○ほかに町事業所の健康管理や会計年度任用職員の労働条件等について質問しました。

②当面する福祉の課題について

ホームヘルパー訪問の現状は

答

サービス提供体制の安定化に努める

ホームヘルプサービス事業の状況について

質問

最近ホームヘルパーの訪問に困難があると聞くが、現状と対策は。

「可能な限り在宅で生活したい」に対応できるよう努めてほしい。

町長

現在3人体制だが余力がなく、社会福祉協議会において追加募集しているが、人材確保に課題がある。関係事業所と協議を進め、サービス提供体制の安定化に努める。



在宅サービスを支えるホームヘルパーさん

○ほかに「農福連携など働く場の確保」、「合理的配慮の義務化の拡大」に関して質問しました。

③ICT教育とふるさと教育の現状と課題について

ICT教育の現状と課題について

質問

子どもたちのタブレット使用の必要性は理解するが、健康、考える力・書く力、情緒への影響を予防する取組の現状は。

人間らしさ保持、健康第一で進めてほしい。また、家庭学習での活用の現状はどうか。

教育長

文部科学省のガイドブックに沿って、各学校とも健康に配慮しながらタブレットを活用し、「人が人を育てる」のが基本と考えている。家庭学習では、課題をインストールして持ち帰って活用し、健康面の配慮については、家庭との連携を図って進める。○ほかに「ふるさと教育の現状」について質問。

町政のここが聞きたい

YouTube
公開中



- 新規就農者の受入態勢の強化について
- 農業生産基盤強化に向けて



なか せりょう た
中瀬 亮太

問 施設野菜を主とした
受入拡充に向けた支援は

答 美深町の特徴を持った
取組が必要

質問

美深町では新規就農者の多くが既存農家の居抜きでの就農になっているが、今後は人口減少対策、基幹産業である美深農業の維持に向けた新規就農者の受入態勢の拡充が必須であると考え

る。今後、畑地化支援の影響により土地が流動的となり、居抜きでの就農だけでは農地の引き受け手が不足し、耕作放棄地の増加が懸念される。新たな受入体制の一つとして、施設野菜導入などの取組に向けた支援をすることはできないか。

町長

美深町での新規就農では、居抜きによる第三者継承を推奨している。

平成8年から昨年度まで10戸の農家が新規就農され、そのほとんどが第三者継承で、い

型が基本となっており、美深農業の土地利用型

作付体系を維持していくことが大切である。それぞれの地域にあった新規就農者の支援制度を行っているということをご理解頂きたい。

質問

近年の異常気象による降雨量増加に伴う農地への浸水対策として美深町の基盤整備事業である小規模土地改良事業の補助拡充の要望が挙げられている状況である。

町長

これまで社会経済情勢の変動による事業費の増加に伴い、土地改良区事業の推進と経営安定化を図るため、各事業の補

しかし、現在は飼料等の物価高騰だけではなく、当事業で使用する重機運用費や砂利等の資材代も高騰しているため、施工実施が益々厳しい状況であると考えているので、事業充実を検討できないか伺う。

助単価及び補助限度額を見直してきた。

小規模土地改良事業は農用地の改良、保全等で適正かつ円滑に実施するために大切な事業と考えているので、近年の価格高騰等の情勢をさらに見極め、新年度に向けて見直しを検討していく。



さらなる支援が求められる小規模土地改良事業

町政のここが聞きたい



せい 生 一 崎 かき 蠣

●民有林におけるJ-クレジット制度を通じた地域活性化について



YouTube
公開中

問

民有林のJ-クレジット制度を推進するために行政として担うべき役割とは

答

情報提供し、具体的なご相談があれば、さらに検討し対応したい

質問

美深町は、豊かな森林資源を有する地域であり、森林の保全と活用が極めて重要。

同時に、有効な森林活用は、私たちの共通の目標である。美深町は、既に町有林において、J-クレジット制度の取り組みを進めており、町財政に大きく貢献している。この制度は、民有林においても、新たな収

益化手段として注目されている。

このJ-クレジット制度を通じて、町内の森林保有者が、持続可能な森林経営を推進し、森林の整備を促進することは地域経済の活性化に寄与し、雇用の創出、さらには生態系の保護など、美深町に多くのメリットをもたらすことが期待される。

森林所有者が、J-クレジット制度を活用することにより、結果的に、地元の経済全体にも波及する流れを築けると考えている。

そこで森林所有者が、J-クレジット制度を活用し、森林整備を推進するために行政として担うべき役割とは何

か、町長の所見を伺う。

町長

本町においては、町有林を2019年にJ-クレジット制度に登録し、現在、企業に購入していただくことにより、森林経営に有効な事業として推進している。

質問にあるJ-クレジット制度を通じ、森林整備事業をはじめ施設整備や担い手、人材確保などの補助により推進してきている。今後、具体的なご相談があれば、さらに検討し対応して参りたいと考えている。

質問

美深町が、農林水産省など制度管理者へ提出したプ

ロジェクト計画書に記載している適応方法論について、今後一般の民有林でJ-クレジットを申請する際、この方法論が適合するに値する設備を導入することは難しいと思われる。

そのため、森林経営活動自体を方法論とするのが現実的だと考えているが、将来的に、美深町の木質ボイラーや中学校の太陽光パネルのような適用方法論に合致する設備導入の計画などはあるか。

町長

現在、SUB A R Uなどに購入いただいたりしているが、これを維持して拡大していくということが、大変厳しい状況になると考えているため、これ以上、拡大計画を持ち合わせてない。

質問

今後、森林所有者に対してJ-クレジット制度や持続可能な森林経営の重要

性について情報を提供することによって、制度の利用や手続きについての認識をさらに高めていくことが、今後重要だと私は考えている。

民有林でJ-クレジットを推進していくにあたり、適用設備の導入やそれに至るまでのサポート、コンサルティング費用、窓口設置などに掛かるイニシャルコストについて、森林環境譲与税を原資とすることは可能か。

町長

今後の推進にあたっての適用施設云々という部分があるが、ご相談あった時点で、具体的な部分を検討し、対応させていただきたい。

用語解説

J-クレジット制度とは、企業や自治体などが、温室効果ガスの排出削減・吸収に積極的に取り組んだ成果を、国が「クレジット」として認証し、売買取引などで取引できるようにした制度です。

町政のここが聞きたい

YouTube
公開中



●美深町及び地方財政について



きのした こう ゆう
木下 広 悠

問 人口増実現に向けて
大胆な予算編成を行う意思是

答 一つの方法としてはあり得るが
地道に政策を打っていくのが現実的

質問 美深町の歳入の約6割は依存財源の地方交付税であり、ふるさと納税の寄付金の額が令和元年をピークに下がり続けている現在の美深町の財政状況についてどのような認識でいるか伺う。

町長 歳入に占める地方交付税の額は概ね30億程度で約5割、6割を占めていて町固有の財源として欠かせないものであり、ふるさと納税はあくまで寄付金であり税金では無いので安定的な財源では無いと認識している。

町の財政状況は経常経費の削減に努めながら必要不可欠なものへの投資を行っており、厳しい状況を乗り越えて概ね安定していると考えている。

今後は大型事業が控えているので、基金や国・道の補助金等の財源を上手に活用しながら

ら安定的な財政運営に努めていきたいと考えている。

質問 自治体の経済力指数で見ると美深町は0・16であり、交付税不交付団体の条件になる1には遙か遠い状況で地方交付税に依存している状況で、安定しているというのには少し違和感を覚えるが。

町長 財政力指数でみると他の町村や上川の町村と比べても遜色は無いと考える。見方によっては安定ではあるが、地方交付税は国が法律に基づいて徴収して地方に交付している、地方あつての国で在り、依存財源と言われながらも一般財源であると考えている。

美深町は人口推計を公表して

いてこのまま行けば衰

退していく事を自認しているから大胆な予算編成が出来ていない印象。

前回町長が「人口減少や少子高齢化は一朝一夕には解決していく問題では無く、地道に政策をやっていくしかない」と発言していたが、地道にやって今の現状があるので、従来の方法だけでは人口減少や少子高齢化は解決しないと言いきって良い。

使途が定められていない地方交付税を利用すれば教育費や企業誘致に必要な予算を3、5倍にする事も可能なので、人口増を目指すために他の予算を削ってもこういう予算編成を行う考えは。

町長 そういう予算編成も考えられない訳ではないが議会が認めるのか疑問。

人口減少や少子高齢化は国の政策が上手く

いって無いのが根本にあるという認識で、まずは美深町においては人口流出に歯止めをかけていき、人口増に向けてあらゆる手を打っていく事も必要不可欠と考えている。

大きな事業所等を誘致出来ればまた状況は変わってくるかと思う。

議会の動き・予定

- 9/ 1 全員協議会
- 9/ 4 議会運営委員会
- 9/ 5 議会広報特別委員会
- 9/ 6 産業教育常任委員会
- 9/11 第3回定例会開会、
提案説明 一般質問
決算審査特別委員会
- 9/12 産業教育常任委員会
- 9/13 決算審査特別委員会
- 9/14 決算審査特別委員会
議会運営委員会
- 9/15 議案審議、定例会閉会
議会広報特別委員会
- 9/25 商工会理事との懇談会
- 9/27 産業教育常任委員会
- 10/ 4 議会広報特別委員会
登別市議会行政視察受入
- 10/ 5 議会広報特別委員会
- 10/18 議会広報特別委員会
- 10/19 上川管内議会議員研修
- 10/20 全員協議会
議会運営委員会
第5会臨時会
議会広報特別委員会
- 10/24 総務住民常任委員会
所管事務調査
- 10/26 議会広報特別委員会
- 10/30~31 議会運営委員会行政視察
(浦幌町・新得町)

意見交換 まちの課題を議会活動に

○農業委員の皆さんとく

8月25日

農業委員からは、高齢化や、担い手不足による農家数の減少、それに伴う耕作放棄地が増加する心配や、物価高騰による経営が厳しい、などの意見があり、町が行う対策がより農業者の実情に合うようにする必要があるので、課題を共有することができました。

○商工会理事の皆さんとく

9月25日

理事からは、商店街の空き店舗対策や景観整備、人口減少による市場の縮小、後継者対策も大きな課題となっているなど多くの意見を頂きました。また、物価高騰による経営への影響をどう乗り切るかが直近の課題となっていることなどを共有しました。



登別市議会が視察で来町

10月4日

広聴・公開委員会（6名）が広報委員会の取組みを視察に来町し、議会広報誌作りで意見交換を行いました。

速報版に関心があり、制作での注意点や過程、考え方など今後の活動の参考にしたいとのことでした。



函岳のめ

美深町に移住して二年も経っていないが、この地で生活する事に大きく愛着を抱いている自分に気付く。

町中をかほそく流れる美深川から、飲み会終わりに見上げる真夜中の星雲まで、目に映るありとあらゆるものが魅せてくれるこの町。
何より外を歩けば高確率で知り合いに遭遇し、雑談をして一切の孤独を感じさせないこの生活が心底気に入っている。今年度から曲りなりに町議会議員として働かせて貰っているが、期待を持って僕に激励してくれた方々の存在が無ければ選挙を戦い抜く事は到底成し遂げられなかった。
当選して町政に関わっていく中で、先輩たちの思いやりを基本とした正鵠（せいこく）を射たアドバースには度々救われている。
昭和期と比べて、昨今の人間関係の気薄さが叫ばれているが、繋がりを軸とした時代に流されない価値観が確かにここには息づいている。
恩返しなどと言うと面はゆいだが、町議としてこの町の課題に全身全霊で向き合う以外の選択肢は今の僕には無い。

木下 広悠 記

住民生活常任委員会

高齢者福祉・介護サービス(特別養護老人ホーム・グループホーム等)の現状と課題について

調査日

令和5年8月8日

調査事項・内容

①各施設の利用状況と待機者数

〔各施設の定員及び利用実績〕平成30年度から令和4年度までの5年間の状況〕

○特別養護老人ホームは、定員50人に対し令和2年度まで常時50人が入所、3年度平均47人、4年度平均45人と減少した。

これは入院や従事者不足による入所抑制によるものとの説明。

入所待機者は、平均30人で経過。

○グループホームは2施設で定員合計45人、令和4年度は平均入居39人。

○通所系利用サービスは4施設で、定員合計

43人、平均通所者数はコロナの影響で一時的に減少したが、令和4年度は33人に回復した。

○短期入所など宿泊系サービスは3施設で、定員合計20人。

特別養護老人ホームの短期入所は定員10人/日、平成30年度平均利用3・8人、令和4年度0・5人と、コロナの影響で減少。

〔待機者等の状況〕

○令和5年6月現在の待機者は特別養護老人ホーム35人、グループホーム2施設7人。

○従事者不足のためと思われるが、待機者がいるのに定員を満たしていない実態がある。

②人材確保策、特別養護老人ホーム建替え

〔人材確保策の状況〕

○一部施設で介護・看護職員が不足、全施設が雇用で苦慮しており、外国人の雇用もある。

○美深福祉会では、人材確保のために独自の奨学金制度を実施している。

〔特別養護老人ホーム建替えの概要〕

入所定員40人、短期入所8人に縮小。

デイサービス15人は変更ないが、別運営も検討している。

年度計画と事業費も示されているが、事業費がさらに増額になる懸念もある。

調査のまとめ

調査を通じ、各施設の利用実績に加え、従事者不足による入所制限発生の実態、事業者独自の人材確保対策も明らかになった。

特別養護老人ホーム建替えは、定員の縮小を含む計画概要が示されたが、運営体制や待機者の解消策、施設の個室化による入居費用の増加、多床室を含め

る検討など、町民の希望や心配が予想され、今後協議が必要な課題も明らかになってきた。安心してできる老後を送れるよう最大限の努力を傾注して様々な課題

に取り組むべきで、町民、自治会、地域ケア関係者、そして議会への情報提供や協議が時機を逃さず行われよう望むものである。

〔特別養護老人ホーム建替えの概要〕

- (1) 事業主体 社会福祉法人 美深福祉会
- (2) 想定する施設規模

区分	内容	現況
入所定員	40床(ユニット型2棟4ユニット)	50床
短期入所	8床(現状稼働率から6~8床)	10床
通所介護	特養と別運営を基本に検討	15人
	併設するなら別棟(独立運営)	

- (3) 第6次美深町総合計画における計画年度及び事業費
 - ・令和5年度 基本設計 ……3,608万円
 - ・令和6年度 実施設計 ……4,000万円
 - ・令和7年度 建設 ……10億円
 - ・令和8年度 運用開始、旧建物解体 ……3,600万円

認定こども園 美深町幼児センターの現状と課題について

調査日

令和5年8月21日

調査事項・内容

①入園児と時間外保育等利用者の推移

令和元年度から令和5年7月末時点の園児数および保育の利用状況では、園児数は毎年0歳児から5歳児までの合計95人から100人程度が在籍しており、傾向としては2号認定（3歳児以上保育）と3号認定（3歳未満保育）が多いことが挙げられ、共働き家庭の増加が要因となっている。

②保育士等職員の採用状況と就労にかかわる現状と課題

センターの正職員は8月1日現在14名、会計年度任用職員数が27名で合計41名（冬季間

は代替保育士+2名で合計43名）が従事している。

配置基準と保育体制については、3歳児の配置基準が国の基準で「20対1」を「15対1」に緩和し、一人目の保育士が保育する子どもの数を配置基準に対して1・0までとしたり、「配慮を要する園児」への手厚い補助員（保育士）の加配をするなど、部分的に町独自の基準を設け充実を図っている。

③保護者アンケートを踏まえた取組の充実について

保護者アンケートの実施については、学校教育法施行規則に基づいた「学校評価としての保護者アンケート」と職員が行う「自己評価」を年2回（7月・12月）実施している。保護者からは、全項目で90%以上の肯定的評価をいただいております。

アンケート結果は公表し、教育・保育の充実に活かしている。その他に、運動会や発表会終了後の行事アンケートや年1回の給食アンケートを実施している。

④子育て支援室と保健センターや各関係機関との連携状況

子育て支援室では支援室（ピコピコルーム）を遊び場として開放し、令和3年度からは新たに、広い遊び場の提供と保健師との連携がし

調査のまとめ

やすくするなど目的に、保健センターの集団検診室での実施へと拡大された。

今回調査においては、保護者アンケートでは9割の保護者から高評価を得ており、職員の努力の成果であると高く評価する。

しかし、アンケート回答率が6割に留まり、回答率向上を目指し研究が必要である。

保育士の確保と体制については、現在の園児数と要配慮児の状況から、補助員を含む18人が常時必要であり、勤務は時差出勤によるシフト制でやりくりしている状況である。

今後については、会計年度任用職員と代替保育士の確保が課題であり、町内在住の元保育士や資格保有者のリストを充実させ、確保に努めるべきである。



園庭で遊ぶ子ども達の様子を視察する委員

美深 まちなか 街&仲 インタビュー

第6弾

びふか手打ち蕎麦同好会

今回はびふか手打ち蕎麦同好会のみなさんです。

月に一度の定例会にお邪魔しました。

会の活動は今年で何年目？

▼今年で10年目となります。現在は会員22名です。

会ができたきっかけは何ですか？

▼「男の料理教室」で、蕎麦打ちの講師にきていただき、体験したことで「会つくろうか！」となりました。

▼今は先生が沢山いて蕎麦打ちできなくても手伝ってくれるから誰でもできますよ(笑)

笑！会員募集です(笑)

蕎麦って打つのに階級があるんですよね？

▼初段からあって、一連の作業を

40分で行い審査されるんです。今は3段を持つてる会員さんがいます。

学校帰りの小学生登場



最年少の会員さん。何年生ですか？

▼小学6年生です。

会員さんの年齢差が凄いですね(笑) 70歳以上の差

▼(最年少会員さんは)凄く上手だよ。

▼調べると段資格審査は13歳以上でないといけないんですよ。

▼今は12歳だから。それが目標だよ(笑)

▼そうですね(笑)

どんな活動をしていますか？

▼今はむつみの苑で無料提供の事業びふかひだまりで新蕎麦の時期の依頼や、自治会での体験講習を行っています。

▼先日は山村留学の体験で蕎麦打ちをしていただき、好評でした。

インタビューも体験

蕎麦打ちはけっこう力がいらいますね！

▼私も初めは大変なつもりでしたが、慣れて楽しいのよ。

▼(練り上げた蕎麦を円柱の形にして)この作業が楽しいのよ。

全員笑



皆さんにとって蕎麦の魅力は？

▼奥が深い！

▼家族に気に入ってくれるものができなかったり。全員笑

▼今日のはおいしい！

▼その日の気温や湿度のちよつとした変化で、水の量を少なくしたり。

お蕎麦できました

▼こだわりの美深産のそば粉です！

▼今日の蕎麦は新蕎麦で風味がともいいますよ。少し緑がかっているのが特徴です。

最後はおいしいお蕎麦を堪能しました。

毎月の定例会では300円で美味しいお蕎麦を食べることができ、ご希望で体験も可能です。

もちろん個人でもOKなので、是非、びふか手打ち蕎麦同好会会員さんにお声掛けください。

(09015201180 岩崎)

8月27日に開催した第68回町民大運動会。

コロナにより3年間中止となり、実に4年ぶりの開会となりました。

参加自治会の減少もあり、今年は内容も新たに再開となりました。

8自治会から選手、応援を含め約350人の町民が集い、久しぶりの運動会を楽しみました。

今号の表紙

